

第2節

ルールの参考、ママ友との話題

メディアの使用ルールについて、母親がどのように決めているのかについては、配偶者の意見、自分の経験、ママ友・先輩ママの意見という順で参考にしてきた。ママ友とデジタルメディアについて対話する際の話については、「テレビ番組」がとて多かった。

●親子のメディア使用のルールを決めるときには、配偶者やママ友・先輩ママの意見を参考にし、自分の経験から判断することが多い

母親は、子どもがデジタルメディアを使用するときのルールを決めるのに何を参考しているのだろうか。参考にしているものすべてについてたずねた。結果をみると(図2-2-1)、多い順に「配偶者の意見」が57.9%、「自分の経験から判断」が39.9%、「ママ友・先輩ママの意見」が37.2%であった。人からの情報では、そのほかに「自分の親の意見」19.4%、「幼稚園の先生や保育士の意見」12.7%も少数ではあるが参考にしている。人の話からの情報が多いととらえることができる。

紙媒体の情報では、「育児雑誌」が29.5%と多く、「新聞・雑誌」14.0%、書籍11.6%とつづいている。

インターネットでは「インターネット上の子育て情報サイト」が18.6%と多かった。「インターネット上の個人のブログ」「インターネット上のコミュニティサイト、SNS」「ツイッター」については、ほとんど参考にされていない。

図には掲載されていないが、母親の年代ごとの差が大きいものとして、「自分の経験から判断」があげられる。29歳以下では30.1%なのに対し、40歳以上では44.1%と

上昇している。逆に、「育児雑誌」は、29歳以下では34.7%なのに対し、40歳以上では26.6%と減少している。母親の年齢があがるにつれ、外部からの情報よりも、自分自身の経験を参考にする割合が増えているととらえることができる。

また、1～3歳の子どもで、保育園に通っているかどうかで差がある項目があった。「ママ友・先輩ママの意見」は、未就園が40.1%と多く、就園31.9%と差があった。逆に「幼稚園の先生や保育士の意見」については未就園が8.2%と少なく、就園が22.2%と多かった。1～3歳の頃は、子どもが保育園に通っている場合、保育士の意見を参考にし、通っていない場合は「ママ友・先輩ママの意見」を参考にしているということがわかる。4～6歳で幼稚園か保育園かにより差があったものは、「ママ友・先輩ママの意見」で、幼稚園が41.2%と多く、保育園では27.2%と若干少なかった。子どもが置かれている状況により、参考にする情報も異なることがわかる。

一方、スマートフォンやタブレット端末などの新しいメディアの場合、親自身の経験だけでなく、子どもの使用にまつわる情報も蓄積されておらず、参考になるものが少ないのも現状である。新たなデバイスやツールが登場するたびに、配偶者やママ友、園の先生とも相談しながらルールを考えていく必要があるのかもしれない。

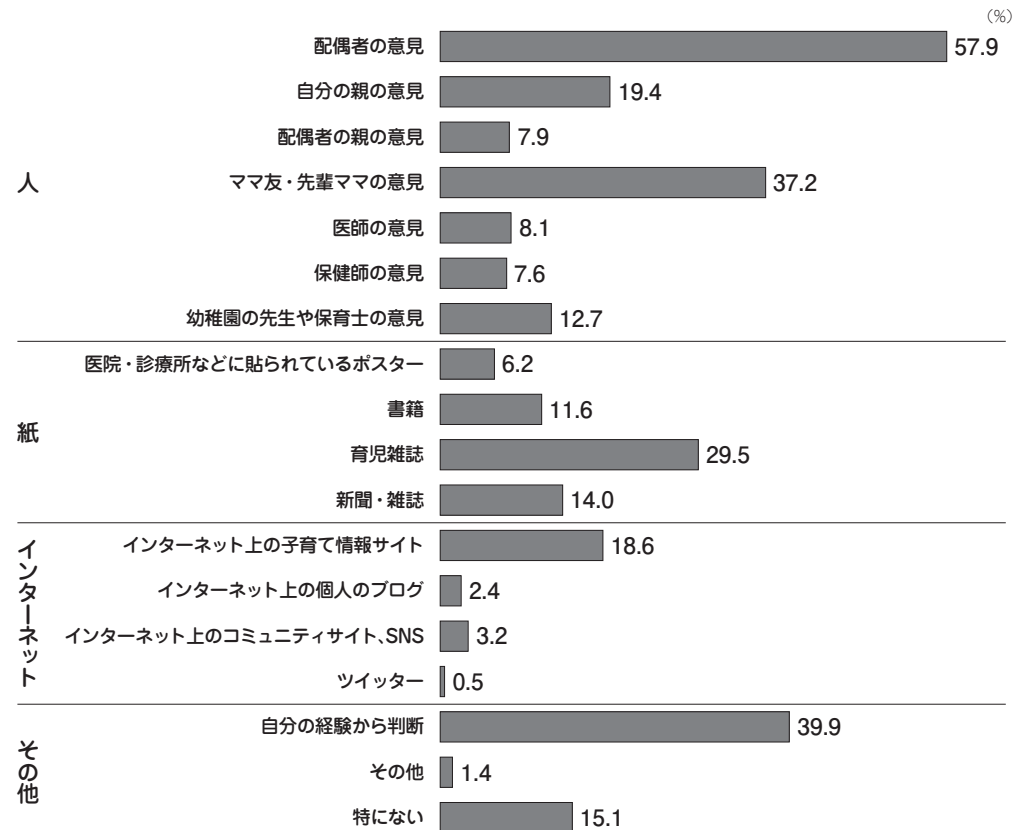
●ママ友との話題についてはテレビ番組に関することが多い

ママ友やママたちの集まる場で、子ども向けのデジタルメディアについて、どれくらい話題が出るのだろうか。メディアごとに話題がどれくらい出のかたずねた。結果をみると(図2-2-2)、「テレビ番組」は「とてもよく出る」「まあ出る」を合わせて0歳後半から3割を超え、全体では51.8%であった。

「ビデオ・DVD」は2歳から5歳について3割以上で、全体として28.6%である。「動画アプリ・ソフト」「学習アプリ・ソフト」「ゲームアプリ・ソフト」については、「あまり出ない」+「まったく出ない」がいずれの年齢においても8割以上であった。

ママ友の共通の話題としては「テレビ番組」が多く、そのほかのアプリ・ソフトに関してはほとんど話題にのぼらないのが現状である。

図2-2-1 子どもがデジタルメディアをみたり使ったりするときのルールの参考



注) 複数回答。

図2-2-2 ママ友とのデジタルメディアの話題の頻度

